

DO BANK 伊予銀行

第6回 伊予銀行決算説明会
&
特別講演会

功つちやん 誕生100年



伊予銀行の概況

伊予銀行のプロフィール

本店所在地	愛媛県松山市	
創業	明治11年3月15日(第二十九国立銀行設立)	
創立	昭和16年9月1日	
資本金	209億円(発行済株式総数 323, 775千株)	
従業員数	役員 20人、職員 2, 744人(パートタイマーを除く)	
拠点数	国内 150か店(出張所7を含む)、海外1か店(香港)	
	13都府県に店舗ネットワークを展開	
	(愛媛県118か店、大分県・広島県各6か店、香川県5か店、その他15か店)	
	駐在員事務所2か所(ニューヨーク、上海)	
主要勘定等	預金等(預金+譲渡性預金)	4兆 1, 154億円
	貸出金	3兆 421億円
	総資産	4兆 7, 089億円
	純資産	3, 702億円

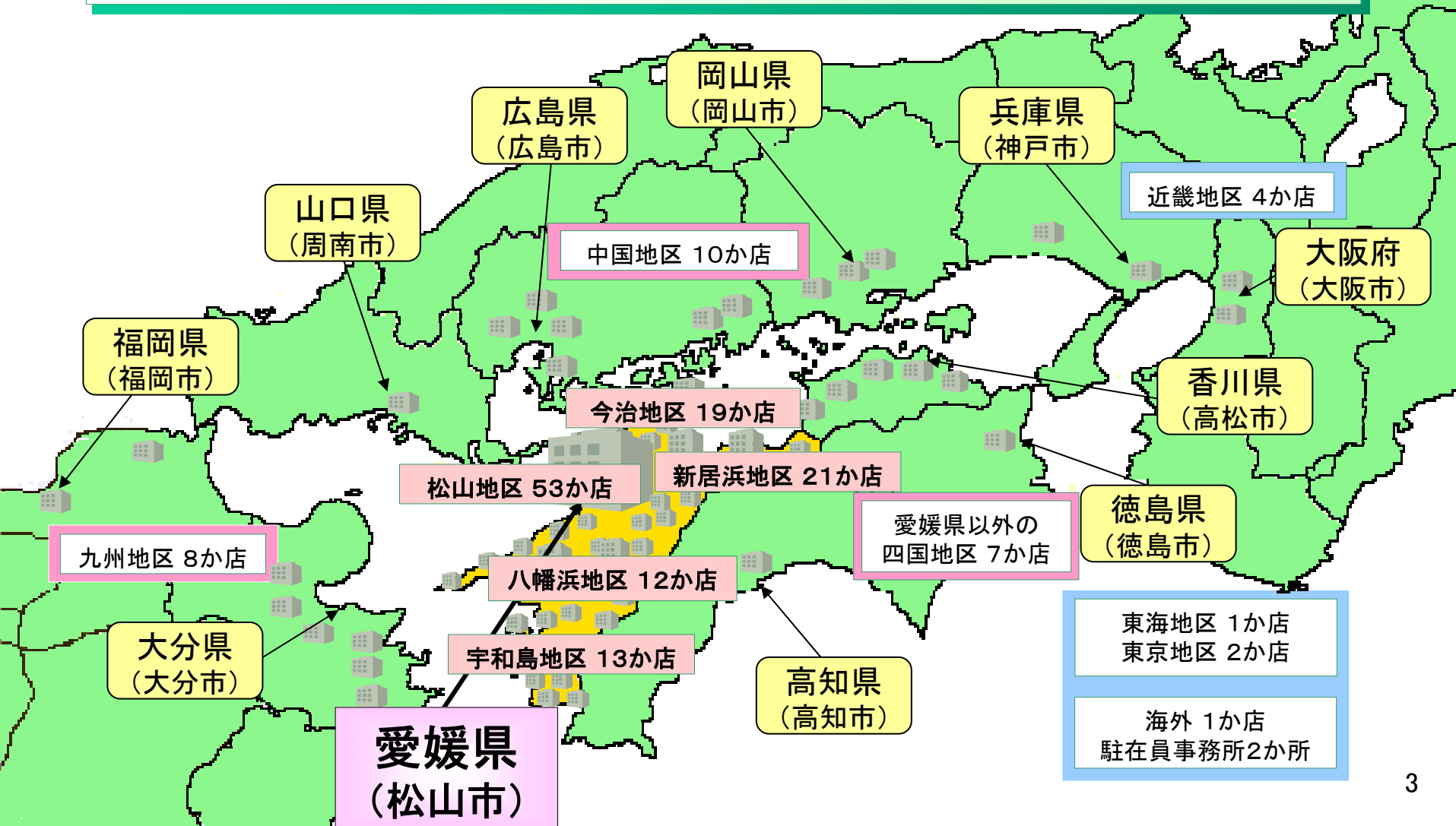
連結自己資本比率(国際統一基準)	12. 16%
連結子会社数	12社
連結従業員数 職員 (パートタイマーを除く)	2, 941人

(※計数は平成18年3月末現在)

伊予銀行の経営基盤



瀬戸内圏域＋東京・近畿・名古屋に店舗配置
地銀No.1の店舗ネットワーク(13都府県)



伊予銀行の経営指標の特性



皆さまにご安心いただける健全性の高さが特長です

健全性

有価証券含み益(連結)

当行実績：2,005億円
地銀平均：575億円

不良債権比率 (金融再生法)

当行実績：2.49%
地銀平均：4.71%

ROA (コア業務純益／総資産)

当行実績：0.72%
地銀平均：0.66%

収益性

ROE(注)

当行実績：7.92%
地銀平均：6.10%

預金等平残増加率(14年度比)

当行実績：6.57%
地銀平均：3.44%

成長性

貸出金平残増加率(14年度比)

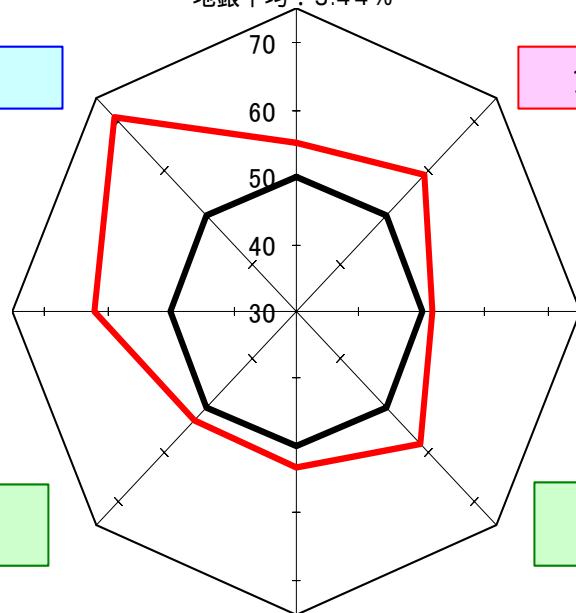
当行実績：7.50%
地銀平均：0.85%

コア業務粗利益増加率(14年度比)

当行実績：3.63%
地銀平均：2.42%

OHR (経費／コア業務粗利益)

当行実績：57.01%
地銀平均：63.50%



地銀平均に対する偏差値
 — 地銀平均=50
 — 当行

(注)ROE計算上の分母には、「資本の部合計」から「株式等評価差額金」を控除したものを使用

平成 17 年度決算の特色

● コア業務純益・経常利益・当期純利益ともに過去最高

預金等残高 4兆1,154億円、年間増加額 1,609億円、増加率 +4.1%
～4兆円の大台を突破し、順調に増加～

貸出金残高 3兆 421億円、年間増加額 1,639億円、増加率 +5.7%
～3兆円の大台を突破、事業性貸出金が増加基調に～

信用コスト 36億円と大きく減少 ～17年3月期比▲25億円～

年間配当を1円増配、18年度中間期創立65周年記念配当50銭予定

● 高い安全性・健全性を示す諸指標

R&I格付
AA-(安定的)

地銀
トップクラス

不良債権比率は2.49%まで低下
～17年3月期比▲0.79ポイント～

自己資本比率(国際統一基準・連結)は12.16%
～17年3月期比+0.26ポイント～

有価証券評価益は1,968億円
～17年3月期比+674億円～

2003年度中期経営計画 数値目標達成状況

~ Challenge 357 ~

<平成15年4月~平成18年3月>



おかげさまで

3年間の中期経営計画をすべて達成いたしました

	15/3	16/3	17/3	18/3 実績	18/3 目標
コア業務純益	291億円	306億円	315億円	336億円	320億円 以上
不良債権比率	4.82%	4.43%	3.28%	2.49%	3%以下
O H R 比 率	61.4%	59.3%	58.7%	57.0%	50%台
R O E 比 率	0.78%	5.27%	7.86%	7.92%	7%以上

(注)OHR比率 … 経費／業務粗利益×100(※ 業務粗利益は、国債等関係損益を除く)

ROE比率 … 当期純利益／期首・期末平均自己資本(除くその他有価証券評価差額金)×100
(株主資本から株式等の含み益を除いたベース)